

2018年8月8日

関係各位

〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21

ローム株式会社

(コード番号: 6963)

ロームが高音質オーディオ機器向け D/A コンバータの製品化技術を確立 最高峰となるオーディオデバイスブランド、ROHM Musical Device 「MUS-IC」として製品化へ

※ここではオーディオ機器の DAC と区別するために DAC チップと表記します

ローム株式会社(本社:京都市)は、ハイレゾリューション音源¹の再生に適した Hi-Fi オーディオ²など、高音質オーディオ機器に最適な D/A コンバータ IC (以下、DAC チップ[※])の製品化技術を確立しました。製品となる DAC チップは、オーディオ製品において最も重要な特性である低雑音と低歪率(S/N 比と THD+N 特性)で世界最高クラスの実現はもとより、度重なる試聴評価によって音質に磨きをかけており、2019 年夏に最初の製品サンプルを出荷する予定です。

近年、ハイレゾ音源の普及により、オーディオ機器では高音質化への要求が高まっています。その中で、オーディオ用 DAC チップは、オーディオ機器において音質を決める最重要部品の一つと言われており、高解像度のデジタル音源データを、音源が持つ情報を損なわずにアナログ変換することが求められています。

ロームは、50 年にわたるオーディオ IC の製品開発を元に、原音にかぎりなく近い音質を再現する「音質設計技術」を確立し、高音質オーディオ機器に向けて、高音質サウンド・プロセッサ IC や高音質オーディオ用電源 IC など、音質にフォーカスした製品を開発してきました。それと同時に、オーディオデバイスのトータルソリューションカンパニーを目指して、DAC チップの開発に着手。2018 年 5 月には、ドイツ・ミュンヘンで開催された Hi-Fi オーディオの世界的見本市で開発中の DAC チップを初公開し、世界の Hi-Fi オーディオ機器メーカーから、「製品化され次第、すぐに採用するだろう」と高い評価をいただくことができました。

なお、現在開発中の DAC チップは、高音質オーディオ用電源 IC「BD372xx シリーズ」、高音質サウンド・プロセッサ IC「BD3470x シリーズ」「BD34602FS-M」とともに、高音質オーディオ機器市場に向けたロームの新しいオーディオデバイスブランド、ROHM Musical Device 「MUS-IC」の一つとして提供していく予定です。

この ROHM Musical Device 「MUS-IC」は、ロームの企業風土である「品質第一」「音楽文化への貢献」「垂直統合型生産」に加えて、前述の「音質設計技術」が合わさることで開発され、ロームの音質責任者が自信をもって送り出す最高峰のオーディオ IC にのみ使用される新しいオーディオデバイスブランドです。

オーディオデバイスとして要求される数値性能と音質性能をともに極限まで追求し、ロームのエンジニアの熱い想いを形にしたローム・オーディオ IC の最高峰。それが ROHM Musical Device 「MUS-IC」です。

ROHM Musical Device
MUS-IC

Photo: ROHM Theatre Kyoto

音楽のために生まれた
ローム・オーディオ IC の最高峰

MUS-IC 製品ラインアップ (2018年8月時点)

- 高音質オーディオ用電源 IC
BD37201MUX, BD37210MUV,
BD37215MUV
- 高音質サウンド・プロセッサ IC
BD34704KS2, BD34705KS2 (正負両電源),
BD34602FS-M (単電源)
- 高音質オーディオ用 D/A コンバータ
BD34301EKV (開発中)

ROHM Musical Device 「MUS-IC」の Web ページ: <https://www.rohm.co.jp/mus-ic/>

今後ロームは、ROHM Musical Device 「MUS-IC」を中核とした、オーディオデバイスのトータルソリューションを目指すとともに、音楽文化の普及・発展に貢献するオーディオデバイスを開発していきます。

以上

<オーディオ市場に対する取組み>

1970年代:アナログオーディオ向けにオーディオ LSI を提供開始

1980年代、1990年代:デジタルオーディオ向けにアナログ技術とデジタル技術を融合した製品を提供

2000年代:圧縮オーディオ向けにマルチメディア・多機能化を実現した製品を提供

2012年:「音質設計技術」の確立に向けた活動を開始

2015年:28の音質パラメータを操ることで、高音質を実現する「音質設計技術」を確立

2016年10月:音質設計技術を初導入した、ホームオーディオ用高音質サウンド・プロセッサ「BD3470xKS2」をリリース

2016年:高音質オーディオ用電源 IC の開発に着手

2016年:高音質オーディオ用 DAC チップの開発に着手

2017年2月:カーオーディオ用高音質サウンド・プロセッサ「BD34602FS-M」をリリース

2017年2月:ハイレゾ音源対応のオーディオ SoC「BM94803AEKU」をリリース

2018年3月:世界初、高音質オーディオ用電源 IC「BD372xx シリーズ」をリリース

2018年5月:Hi-Fiオーディオの世界的見本市「HIGH END」「hifideluxe」にて、DAC チップを初公開

<用語説明>

*1) ハイレゾリゾリューション音源(ハイレゾ音源)

一般的な音楽用 CD で再生される音楽はサンプリング周波数 44.1kHz、量子化ビット数 16bit であるのに対し、ハイレゾ音源は、サンプリング周波数が 96kHz 以上、量子化ビット数が 24bit 以上のデータが一般的。つまり、ハイレゾ音源の情報量は通常の音楽 CD よりも格段に多いため高音質を実現することができる。

*2) Hi-Fi(High Fidelity)オーディオ

High Fidelity は高忠実度をさす。音源のもつ情報を忠実に再生することを目指した高音質オーディオのこと。

<この件に関するお問合せ先>

ローム株式会社 メディア企画部 広報課

〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21

TEL(075)311-2121、FAX(075)311-1317